平成22年度 実施事業

事務事業名 クリンクルセンター中間改修事業

区分	<b>₩</b> □	夕							
<b>△</b> 刀	番号	名							
章	2	自然とともに暮らすまち							
節	1	環境への負荷の少ないまちをつくる							
施策	2	循環型社会の構築							
小分類	3	一般廃棄物の適正処理							
主要な施策	1	ごみ処理施設の適正な維持管理の推進							
事務事業番号	010	事務事業コード 21231010 <b>事業開始年度</b> 平成 2.2 年度 事業終了年度 平成 2.6 年度							

会計種別 一般会計 予算書上の事務事業名クリンクルセンター中間改修事業

グループ名 環境対策室環境対策 G 部名 市民生活部

統合前または名称変更前の事業名

# 事務事業の目的と成果

(事務事業の実施目的を具体的に記載してください)

クリンクルセンターは平成12年供用開始し、これまでも施設の状況による修繕を行ってきた 目的 が、修繕で対応できない施設について更新を行い機能回復及び延命化を行う。

(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください)

1. 焼却処理施設

機械設備 1式

電機計装 1式

2.破砕・再資源化施設

破砕設備 1式

手 段

事 業 の 内 容

活 動

# (事務事業の実施成果を具体的に記載してください)

1.焼却設備

C=117,180千円

2.破砕・再資源化施設 C= 11.025千円

成果

(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください)

根拠法令等廃棄物の処理及び清掃に関する法律

# 指標の推移

		区分	単位	区分	22年度 実 績	23年度目標	24年度 目 標	25年度目標	26年度 目 標
		タケー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー	0/	目標値	100	100	100	100	100
成果		各年度毎の事業達成率	%	実績値	100	/			
指標				目標値					
				実績値			/		

#### 事業費の推移 22年度 23年度 24年度 25年度 26年度 24~26 $\overline{\mathsf{X}}$ 分 単位 当初予算 見込 決算 見込 見込 年度 千円 国庫支出金 名称 0 千円 道支出金 名称 千円 128,200 118,600 164,600 164,600 164,600 493,800 事業の 地方債 名称 財源内訳 千円 その他 名称 -般財源 名称 千円 83.189 18,355 18,355 18,355 55,065 128,205 201,789 182,955 182,955 182,955 548,865 職 千円 6,275 6,111 (参考) 嘱託員 千円 0 676 上記事業を実施する上で 32 臨時職員 千円 156 必要となる人件費 計 6,143 7,107 合

### 担当グループによる事務事業評価の内容

担当グループによる事務事業評価の内容									
1.事務事業の妥当性につい	て								
今後も市が事業主体として実施していく	妥当である		妥当である理 由、妥当ではな	一般廃棄物の処理は市町村責任で行うこと から施設の改修計画についても市が行う。					
ことは妥当ですか?	妥当ではない		い理由は何です か?						
2 . 事務事業の成果について									
成果はあがっていますか?	成果があがっている とだちらかといえば あがっている 成果があがらない		成果があがって いる理由、あが らない理由はな んですか?	平成22年度は当初計画のとおり事業を実施できた。					
3.事務事業の成果向上について									
成果を向上させることはできますか?	大きく向上させる ことができる 少し向上させるこ とができる 向上させることは できない			計画とおり事業を継続することにより成果 を向上できる。					
4.事務事業の経済性・効率性について									
成果を落とさずにコ スト(予算や人工、 所要時間)を削減す	削減できる		でコストを削減 しますか?	<sub>載</sub> されている。 。 。また、事務に係る人件費についても最小限					
ることはできます か?	削減できない		削減できない理 - 由はなんです か?	であり削減は困難である。					

# 担当グループによる評価

維持

左記の評価 を選択した 具体的な理 由(根拠) 計画に沿って事業を推進することにより施設の延命化に資するため。

#### 総合的な評価(当該事務事業の方向性)

維持

備考

#### 評価の種類

拡大(事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業)

維持(現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業)

改善(現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業)

休止(暫定的に休止する事務事業)

終了(当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業)

廃止(当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業)